

第1回

「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」の施行状況の検討に係る有識者会議

委員意見

- はじめに：地方大学と地方創生
- 求められる地方大学の覚悟と支援：共愛学園前橋国際大学を事例に
- DX後の地方大学と都市部大学



共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学短期大学部

KYOEI GAKUEN UNIVERSITY / JUNIOR COLLEGE

学長 大森昭生

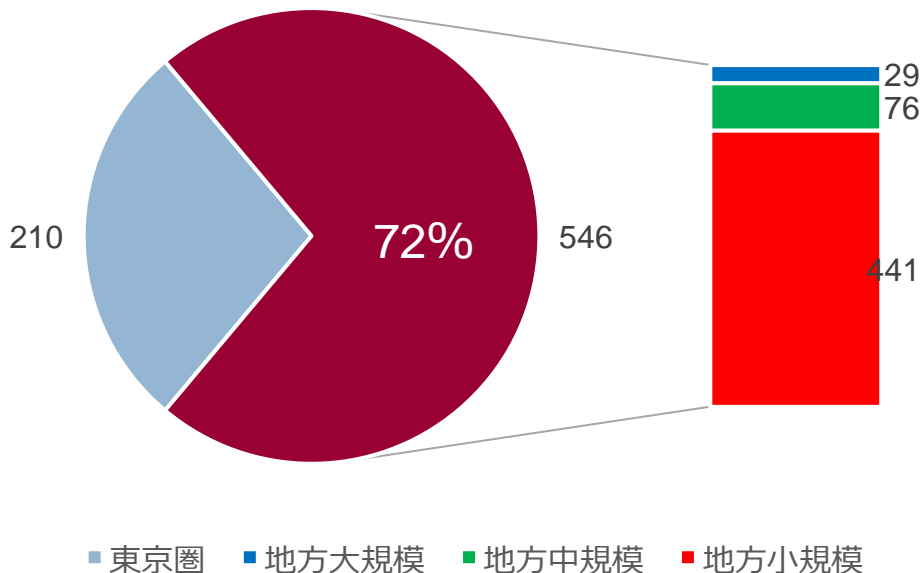


はじめに

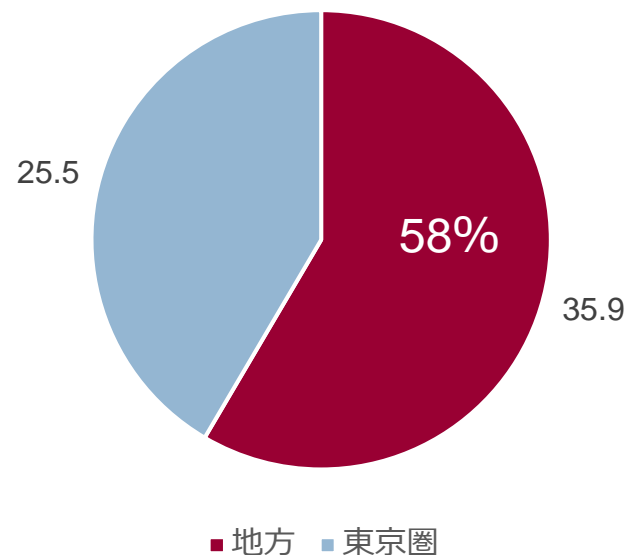
地方大学と地方創生

地方大学について

大学数



大学入学定員数 (万人)



1大学あたりの入学定員平均

東京圏：約1200人

地方：約 660人

(参考)

群馬県における1大学あたりの入学定員平均

全体：約300人

大学のみ：約380人

短大のみ：約140人

2021年12月中央教育審議会大学分科会

「これからの時代の地域の生ける大学の在り方について—地方の活性化と地域の中核となる大学の実現—（審議まとめ）参考資料集」より

地方大学と地元定着

進学時

県外

県内

地方大学の存続は
地方創生にとって不可欠

就職時

県内進学者

県内

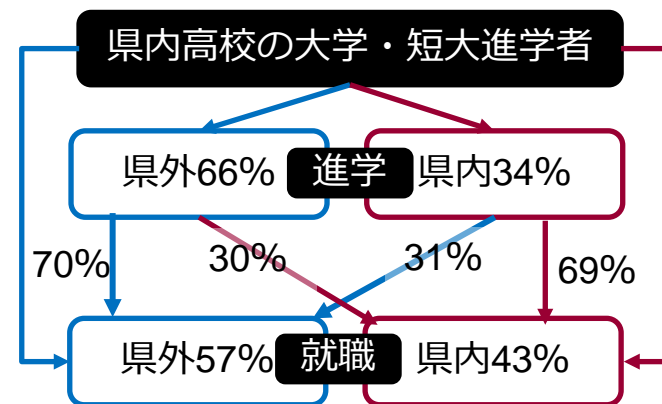
県外

県外進学者

県外

県内

(例)
群馬県における地元定着のイメージ



H27年時点の群馬県による推計（概数）をもとに作成

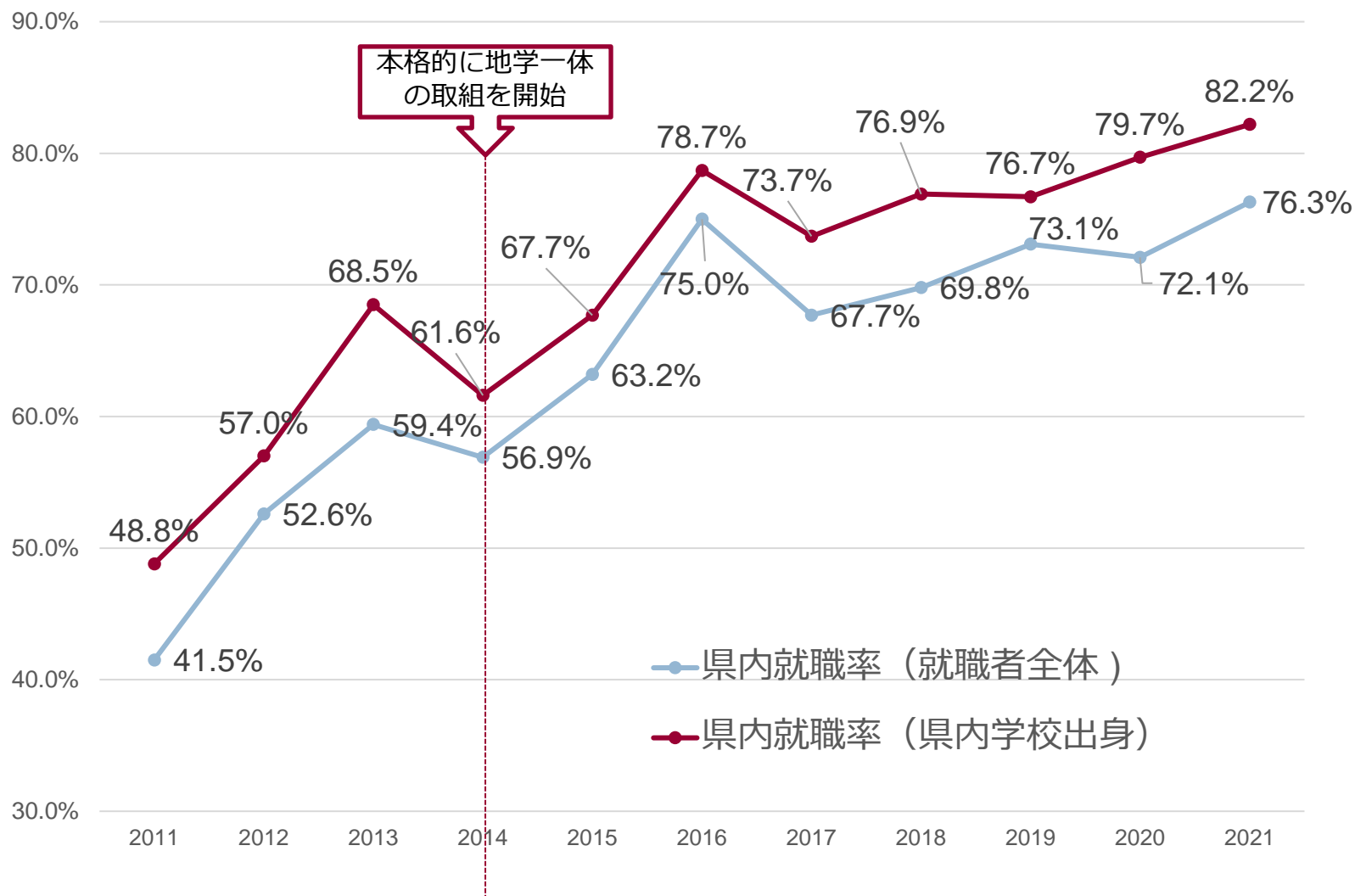
共愛学園前橋国際大学を事例に

求められる地方大学の覚悟と支援

共愛学園前橋国際大学について（巻末資料参照）

- 明治21年設立共愛学園が設置する大学。学園には他に、こども園、学童クラブ、小学校、中学校、高等学校、短期大学がある。
- 群馬県前橋市に所在し、国際社会学部に英語、国際、情報・経営、心理・人間文化、児童教育の各コースを置く単科大学で、入学定員299名（2021年度定員増）のいわゆる地方小規模大学。
- 理念：共愛＝共生の精神 目的：GLOCAL人材の育成
- **受験生は年々増加、入学者の約9割が群馬県内高校出身、就職者の7～8割が群馬県内企業に就職。「地域からお預かりし、地域にお返しする」が使命。**
- 2012～19年にかけてGGJ、COC、COC+、APの各事業の採択を受け、同時に運営。全国の学長が教育面で注目する大学＝4位（『大学ランキング2023』）

共愛学園前橋国際大学における群馬県内就職割合推移



共愛学園前橋国際大学における地学一体の学び

学生企業「繭美蚕」



特産品開発で地域企業とコラボ！

Mキッズサミット



市・NPOと子ども育成プロジェクト

学校フィールド学習



年間を通して学生が学校を支援

やる気の木プロジェクト



前橋市職員・しない学生の活性化PJ.

M-Change



困難を抱える生徒の学習機会創生PJ

ETC

児童英語教室サポーター
日本語教室サポーター
各種ボランティア

環境ネットワークキャンパス



地元企業・他大学とのPBL

前橋学



地域の歴史を地域の中で地域の人と学ぶ



半年間大学に来なくていい

サービスラーニングチーム (半年の地域留学)

長期インターンシップ



RPW (Regional Project Work)



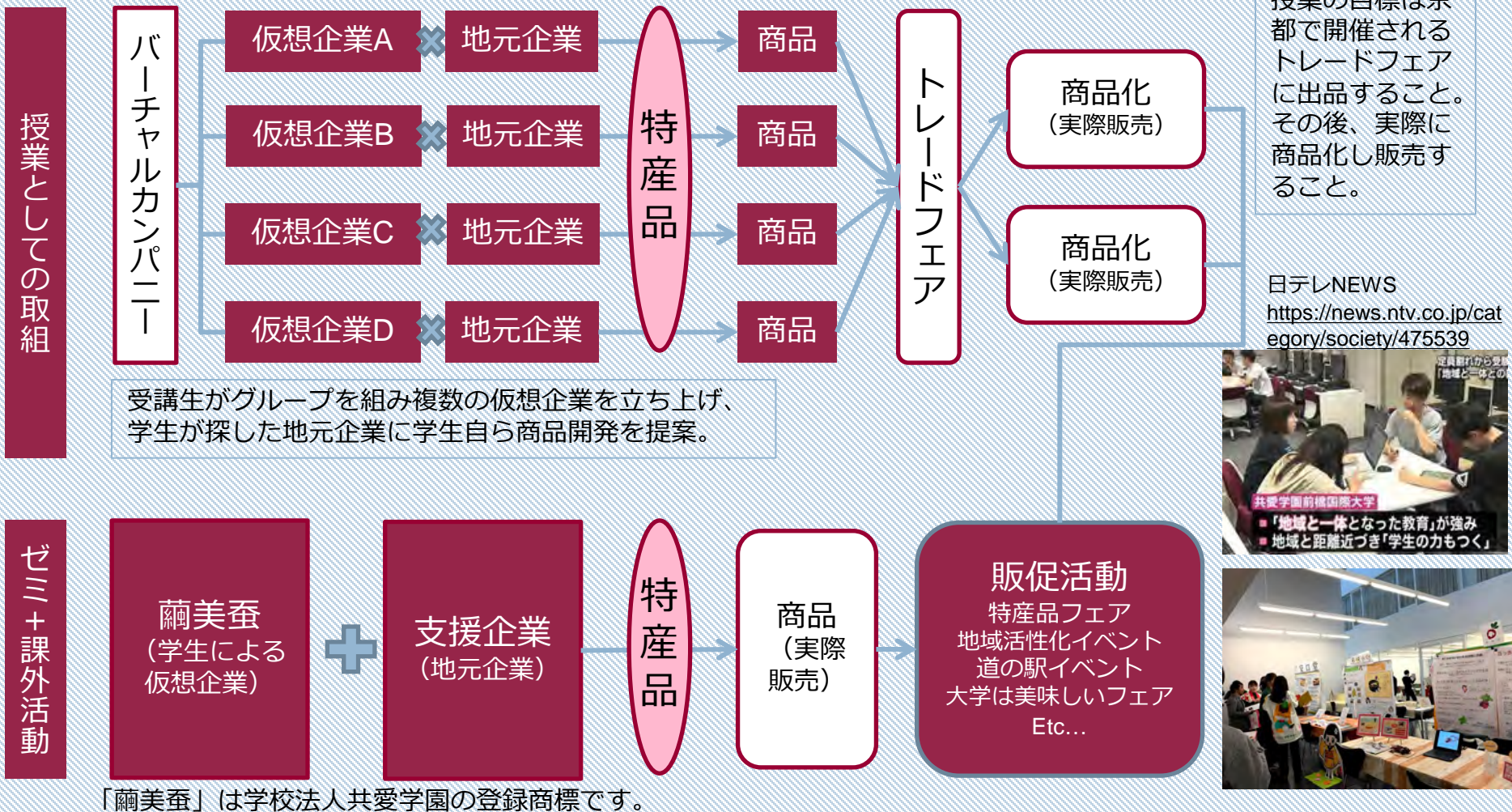
4か月間、大学に通う代わりに市役所や企業へインターンを行ったり、山間地域の限界集落に通ったりする。



参考資料(スライド9~21)

学生による商品開発のプロセス(バーチャルカンパニー+ 繭美蚕)

- 「バーチャルカンパニー」 (1・2年生対象) という授業の中で特産品を活用した商品開発を行うプロセスと、仮想企業「繭美蚕 (まゆみさん)」という学生団体 (中心となるゼミ+有志) が行うプロセスとがある。
- 「繭美蚕」では、授業で商品開発を経験し、3・4年生になっても活動を継続したい学生が所属し、授業で商品化された商品の販売の継続や独自の商品開発を行う。



課題解決型インターンシップ(ミッショングローバル研修)

アウェイの地で地元企業から出されるビジネスミッションを遂行



マーケットで調査
時間がない!



調査と同時に群馬県のプロ
モーション(タイ語県パン
フレット配布)



ショートミッションの報告



メインミッションのプレゼン

研修イメージ

Day1	Final Mission (チーム)	
Day2	1 st Mission (個人orペア)	9:00 --- 15:00
Day3	2 nd Mission //	9:00 --- 15:00
Day4	3 rd Mission (チーム)	9:00 --- 15:00
Day5	4 th Mission //	9:00 --- 15:00
Day6	5 th Mission //	9:00 --- 15:00
Day7	最終プレゼン	



事後研修 サンデン本社(日本)
でのプレゼン タイへも配信

年度により下記の地元企業と展開

- ・ヨコオデイリーフーズ
- ・コシダカホールディングス
- ・JTBタイランド/群馬支店

伊勢崎市教育委員会共催 児童のためのグローバルワークショップ

グローバルワークショップを企画・運営するというワークショップ



まちと課題と学びと取組と

インバウンド人材育成PRG
(授業)



前橋めぶくフェス
× インバウンド × やる気の木
× 繭美蚕



やる気の木PJ
(地域実践演習・授業)

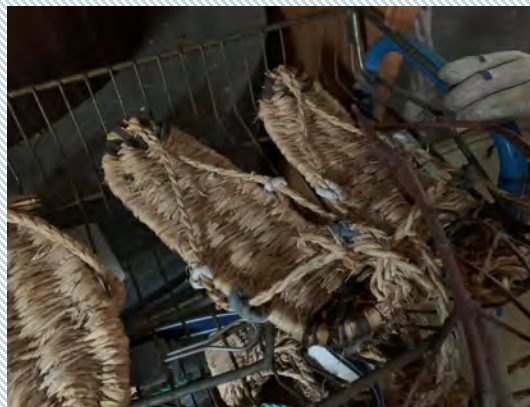
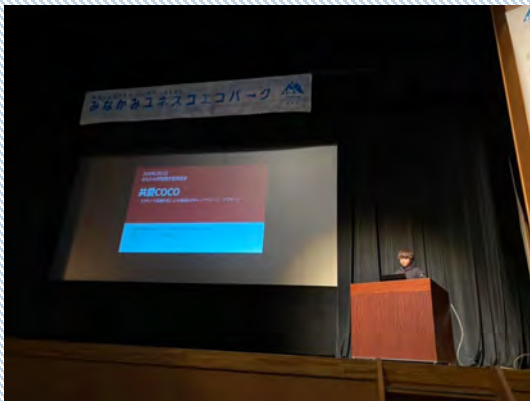


https://www.facebook.com/pg/mebukufes/photos/?ref=page_internal

<https://www.facebook.com/RS.Program/videos/304167847140981/>



Regional Project Work 共愛COCO



<https://www.facebook.com/kyoaicoco/>

共愛学園前橋国際大学 with 富岡



富岡成果報告会

私たちは絆ラボの支援を受け、富岡市で調査を行いました。調査で得られた住民一人一人の思いや未来像を紹介します。

2022年3月1日(火) 19:30~20:30

「思いや活動の伝承庫である『未来予想マップ』について詳しく解説します！」

街歩きの様子



共愛学園前橋国際大学×slowcity



前橋市長特使として気仙沼
に訪問も



- <https://kyoaislowcity.jp/>
- <https://www.instagram.com/p/CY4Q4pxJ3y7/>
- <https://www.akagi-trip.com/news/kokusukimap2020/>

慶応×共愛 前橋プロジェクト



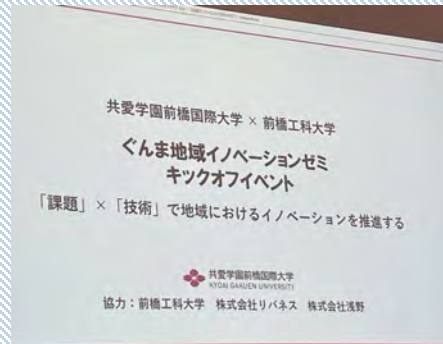
<https://www.instagram.com/maebashipi/>



分野融合×地域連携×大学連携×産学連携による人材育成

ぐんま地域イノベーションゼミ

共愛×前工大×(株)リバネス×(株)浅野
地元企業のテックの実装について、文系学生と理系学生がコラボ



テック活用ワークショップ

共愛×太陽誘電(株)×前橋市
太陽誘電の誇る先端技術と前橋市のデジ田事業「前橋ID」で社会課題解決や新商品開発に取り組む



ぐんま方言かるた PJ

国語ゼミ×美術ゼミ×商品開発ゼミ×FMぐんま×群馬県
広く県民から方言を募集し、国語ゼミが読み札を美術ゼミが絵札を制作、商品開発ゼミが商品化とプロモーション
県教委を通して県内すべての小学校に教育教材として寄付。



<https://youtu.be/4uPTgfMcfus>

キャンパスを活用した地学一体



前橋市タウンミーティング
With 前橋市



アーツカウンシル前橋
With 前橋市



ぐんまジュニアICTクラブ
With 上毛新聞・IT企業



児童グローバルワークショップ
With 伊勢崎市教委



インバウンド人材育成PJ報告会
With 観光協会等



高校生×大学生
前橋活性化PJ報告会



高大連携コラボゼミ
With 県教委



高校生探究活動報告会
With NPO



学生ファッションショー+メイク
アップセミナー With 地元企業



取材インターン報告会
With 県内企業



6大学合同企業説明会
With 県内企業・県内私学



群馬経済同友会シンポ
With 群馬経済同友会

キャンパスを活用した地学一体



シゴトーク
With 上毛新聞・地元企業



保護者と企業との懇談会
With 群馬経済同友会



長期インターン中間報告会



多文化共生学習会
With 地元NPO



地域実践演習説明会



公開講座



オープンキャンパス

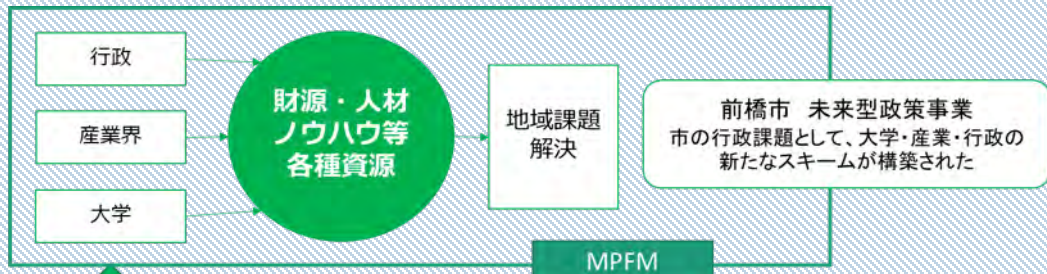


クリスマス点灯式



こども図書館英語絵本読み聞かせ
With前橋市子ども図書館・短大部

めぶく。プラットフォーム前橋



2018年9月 MPFMを運営するための組織として推進協議会が発足

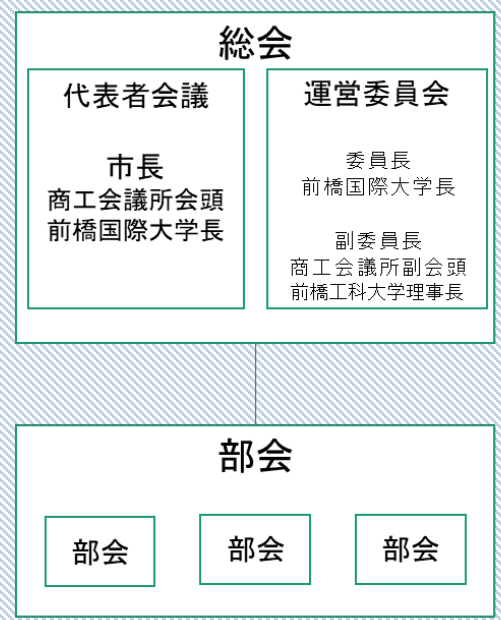
地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会



<https://www.mebuku-pfm.jp/>

- 前橋市
- 前橋商工会議所
- 群馬大学
- 県立県民健康科学大学
- 市立前橋工科大学
- 群馬医療福祉大学
- 明和学園短期大学
- 共愛学園前橋国際大学

連携基盤推進協議会の組織



共同事務局

第2回STEAM人材育成研究会(産業競争力懇談会連携)にて日本商工会議所の依頼で事例報告



平成30年度文部科学白書 に好事例として掲載



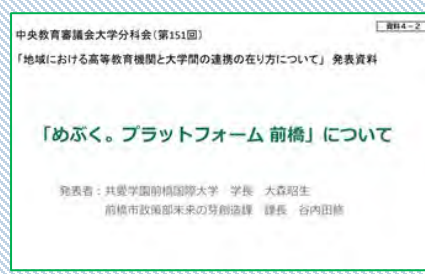
文部科学省主催シンポジウム「大学の力を活用した地方創生に向けて」にて事例報告、文部科学大臣も参加、共愛学園前橋国際大学学長がファシリテーター



内閣官房「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議(第3回)」にて前橋市長と共愛学園前橋国際大学学長が報告



中央教育審議会大学分科会(第151回)にて共愛学園前橋国際大学学長と前橋市未来の芽創造課長が事例報告



自治体との関係・協働（前橋市を例に）

——協働事業——

授業「前橋市を考える」
前橋市の寄付講座。毎週異なる部署から講師派遣。

長期インターンシップ
4か月、市役所各部署で5名の学生を受け入れ。

Mチェンジ
中学生寄添型支援。福祉課・NPO本学生のコラボ。

筑井小こざくらプラン
年間を通して学生2名が毎日「勤務」、10年超の取組。

やる気の木PJ
市内大学生が市若手職員と展開する街中活性化PJ

Mキッズサミット
子ども育成PRG。生涯学習課・NPO・本学生のコラボ。

Inbound人材育成PRG
観光コンベンション協会、観光振興課とコラボ。

前橋学講座
毎年各公民館を回る歴史講座。10年継続。

はじめてのPC講座
公民館と共催。学生が講師。会場は本学。

前橋・共愛子育て広場
10年以上続く子育て支援事業。

Birmingham姉妹都市交流
市の姉妹都市締結に本学も同行。交流PRGを策定中。

Bulgaria Connection
市のブルガリア交流促進のため本学が同国と交流開始

歴史文化遺産活用委員会
文化国際課予算の委託で市と大学が共同設置。

5G等ICT活用推進協議会
市とNTT Docomoの取組に参画

Gunma Programing Award
上毛新聞・市が共催。本学は運営協力

慶應×共愛 前橋PJ
慶應と本学学生60名が前橋中心地で合宿。活性化策探る

45DAYS/まえきフェス
市・JR等と協働し街中・駅前活性化事業に参画

めぶくフェス
前橋Vision「めぶく」を体現。本学教員が実行委員長。

けえろう祭
市・商工会議所・商店街とコラボした学生の街中イベント。



Inbound人材育成PRG



BRG大使・市長・学生が植樹



けえろう祭で市長と



本学が
発行し
る「市
の課
長が
コラ
ボを
通し
て交
流の
場を
提供
する
こと
が、
市民
の間
で愛
され
る学
園に
なる
こと
が、
国際
大学
に愛
され
る

Colum



教員の「熱」が学生に伝わり
広がっているのを感じます。

前橋市政部 未来のまちづくり課
谷内田 修

共愛学園前橋国際大学の評価と現状

4位

学長が教育面で注目する大学
(過去5年連続4~5位)

- 1位 金沢工業大
- 2位 国際教養大
- 3位 国際基督教大
- 4位 共愛学園前橋国際大**
- 5位 東京工業大
- 6位 東北大
- 7位 金沢大
- 8位 芝浦工大・早稲田大
- 10位 東京大

11位

学長が総合的に注目する大学

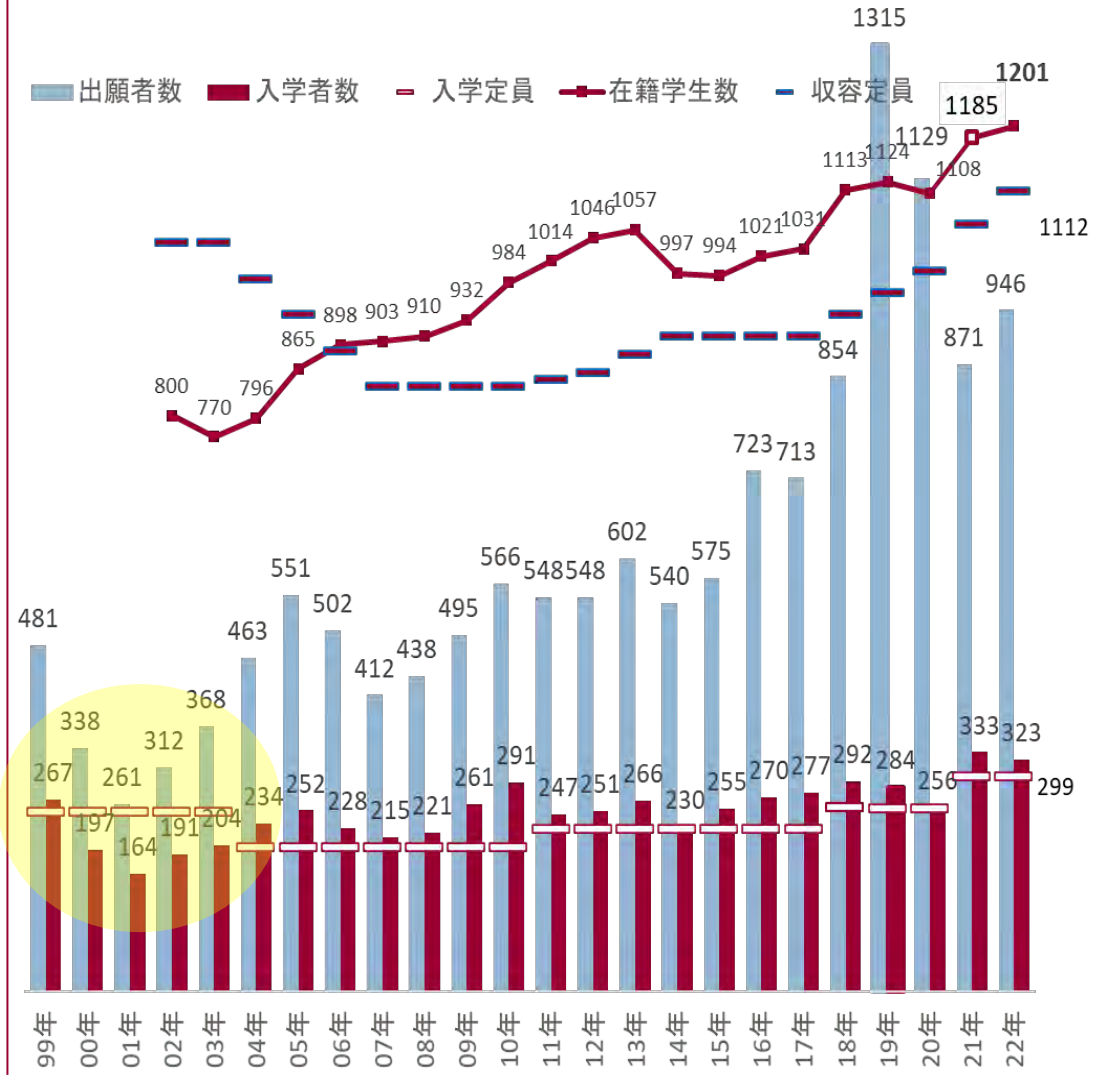
- | | |
|--------------|----------------------|
| 1位 京都大 | 8位 国際基督教大 |
| 2位 東北大 | 9位 早稲田大 |
| 3位 東京大 | 10位 名古屋大 |
| 4位 金沢工業大 | 11位 共愛学園前橋国際大 |
| 5位 東京工業大 | |
| 6位 大阪大・国際教養大 | |

1位

学長が注目する学長

『大学ランキング2023』(朝日新聞出版)

在籍学生数・出願者数・入学者数推移



覚悟と支援

- 本学は、地域のための大学、地元で頑張りたい学生のための大学になると覚悟を決め、徹底的に地学一体の学びを展開してきた
- 学生募集も、群馬県内と周辺地域にのみ広報を集中させている
- 「地域からお預かりし、地域にお返しをする」 / 「地域の未来は私がつくる」

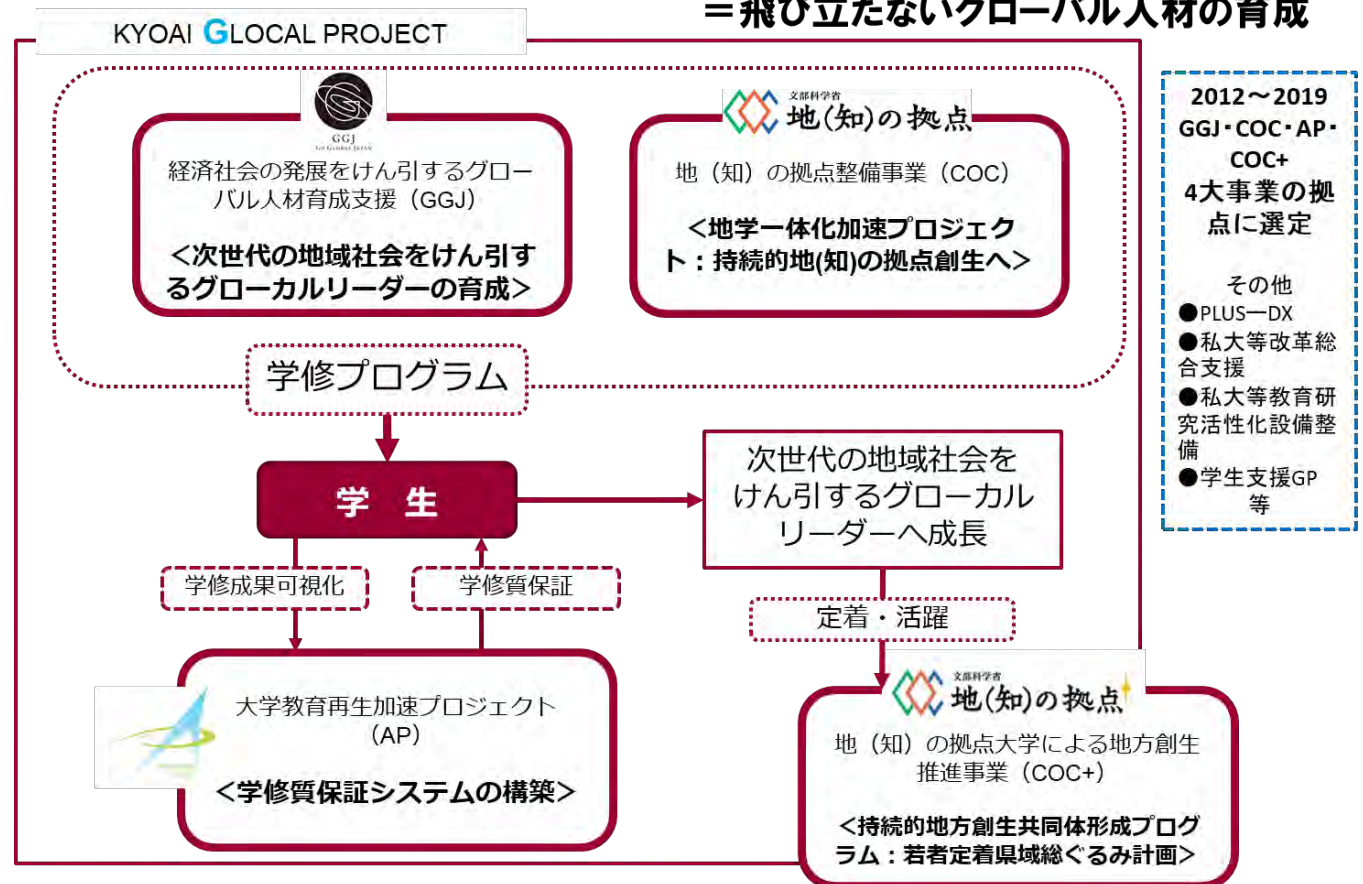
次世代の地域社会をけん引するグローバルリーダー

= 飛び立たないグローバル人材の育成

- 同時に、補助事業の採択により支援を受けてきた。



- 地方大学は小規模ゆえに、大きな支援よりも、受けやすく、小さな支援が継続されることが望ましい。





教育再生実行会議における（大森の）提言より

DX後の地方大学と都市部大学

New normalにおける(地方)大学の姿

大学がその地域に存在する
意味を再確認

大学が「そこ」にあるのは、
「たまたま」ではないはず



予測困難な時代の学びには、
「理論」 ↔ 「実践」 ・ 「教室」 ↔ 「現場」 ・ 「成功」 ↔ 「失敗」
の往還が求められる。

Online至上主義に拠らない大学の姿

仮に本学がOnlineばかりの大学になるならば、群馬県前橋市に存在する意味はなくなる。その代わり、地域人材育成の役割は果たせなくなるだろう。

同時に、「Online競争」となるなら、それに長けた大学に集約され、各地から大学の姿自体が消えることにもなりかねない。

よって、本学は、これまでも増して、群馬県という地域の中で学ぶ「リアルな学修プログラム」を強化し、その存在意義を明確にしていくこととなる。

コロナ禍でも展開されてきた地域実践学修



富岡製糸場へのフィールドワーク



自治体へのヒアリング調査



共愛ファームの取組



地元企業への長期インターンシップ



市役所への長期インターンシップ



地元経済団体による寄付授業
(企業人の講義とアプリによるセッション)



慶応×共愛 前橋元気PJ



地元児童の自然体験学習支援SL



地元児童のグローバルWS実施SL

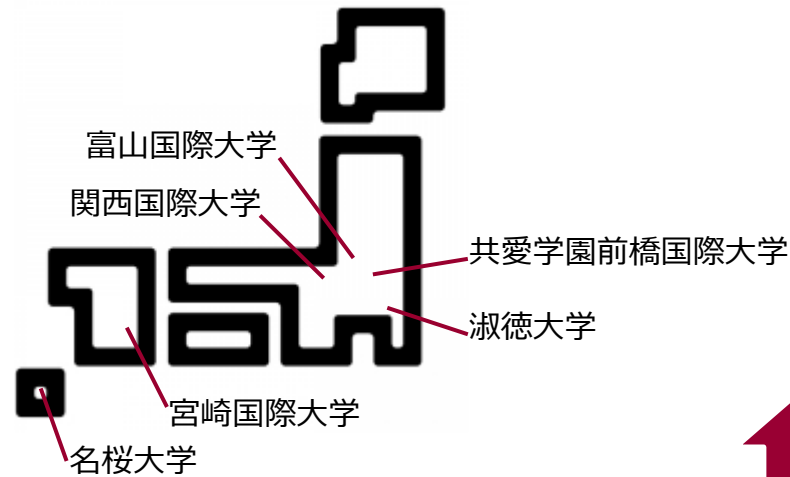


地元高校生探究学習支援SL



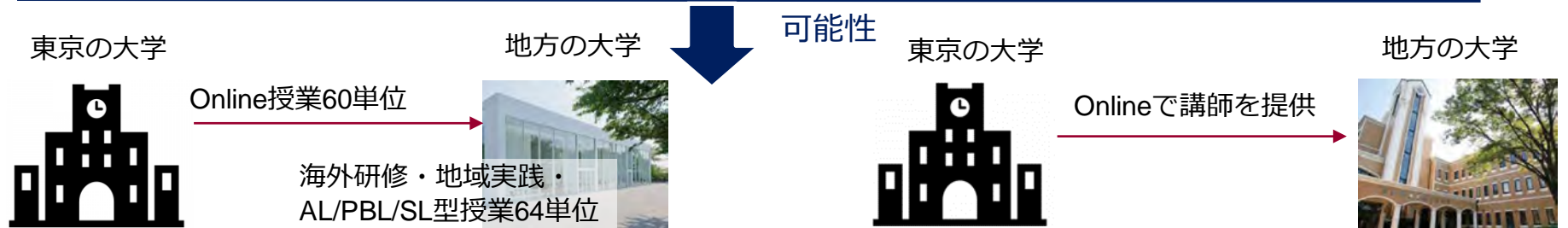
学内ピアサポートSL
(レポートライティング・英語・IT)

Onlineがもたらす(地方)大学の新たな可能性



CCP6 (Consider Corona Project 6大学)
 各地方の大学の学生が協働し、「街づくりと観光」など4つのテーマで調査研究活動を展開。
 各地域で調査し、**地方特色を踏まえながら**
 OnlineでPBLを展開。

2021年度に試行後、現在は授業化



- 地方の大学を東京の大学から提供されるOnline授業の**学習センター**とする。
- **連携推進法人**の自ら開設原則緩和基準を超えて、**Double / Joint Degree**を可能とする**学部等連携課程**的な大学協働学位プログラムを認める必要がある
- サテライト設置というハードルを越えた、東京の大学の新たな地方創生モデルとなり得るのではないかと

- 地方大学が実施する**リカレントプログラム**に東京の大学から先端の知見を提供
- ただし、地方におけるリカレントニーズは、短期間・安価であり、多様な人材ニーズがあるものの各業種の人材需要規模は小さいので、地方大学のリカレントは正規学生の受け入れや事業収入は見込めない。
- よって、一定の単位あるいは時間を履修するパートタイム学生も「学生数」にカウントする必要がある。



(参考)大学紹介等



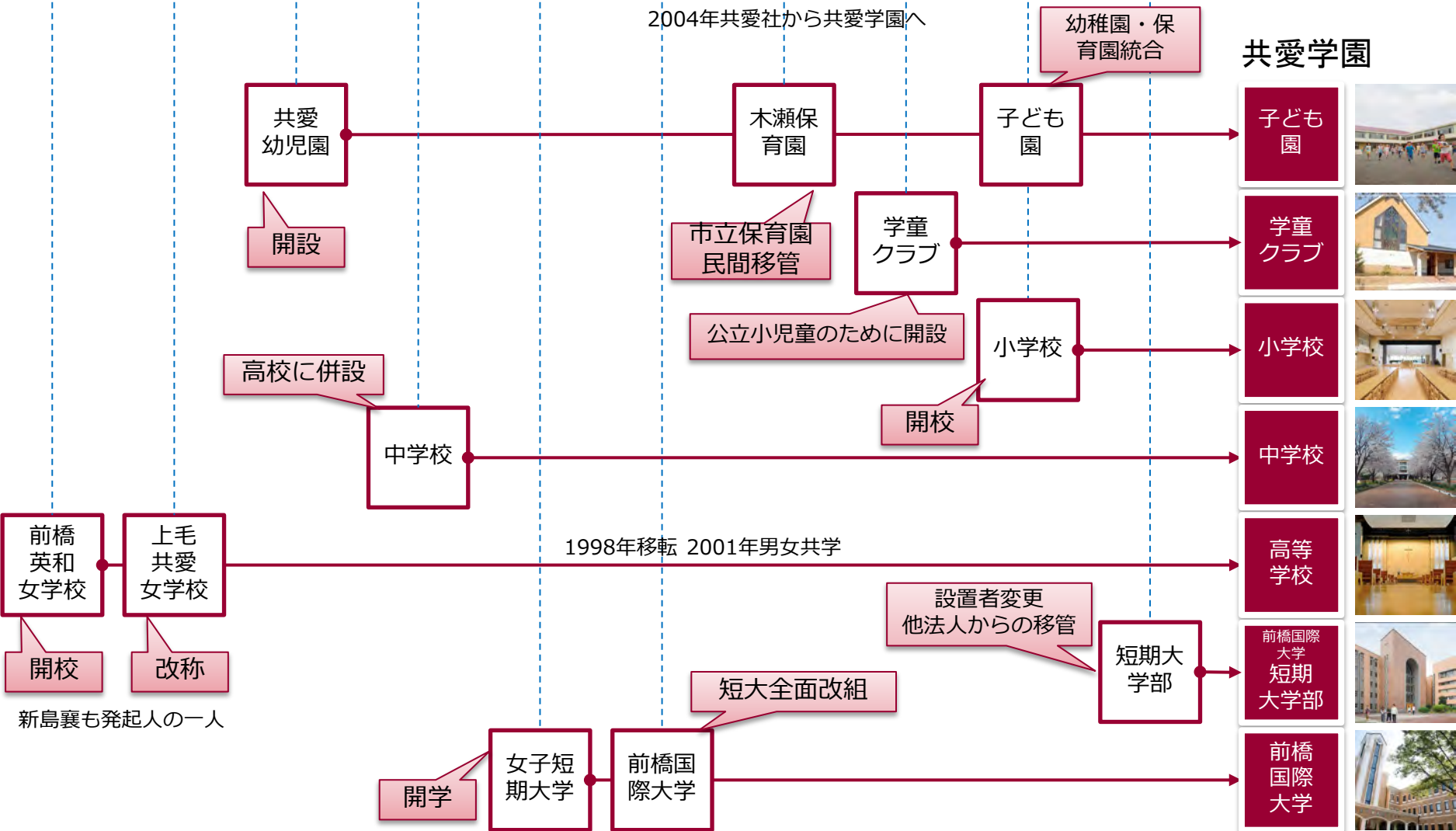
共愛学園の歩み

明治21年

100周年事業 110周年事業

130周年事業

- 1888
- 1889
- 1939
- 1947
- 1988
- 1999
- 2009
- 2011
- 2016
- 2021



共愛学園前橋国際大学の概要

共愛学園前橋国際大学

国際社会学部 国際社会学科

国際社会
専攻

英語コミュニケーションコース

English Communication Course

国際コース

International Course

情報・経営コース

Information Technology, Business Management Course

心理・人間文化コース

Psychology, Humanity and Culture Course

地域児童
教育専攻

児童教育コース

Elementary Education Course

名称
英語名

共愛学園前橋国際大学
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY

理念

共愛 = 共生の精神

目的

国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成

モットー

学生中心主義
地域との共生
ちょっと大変だけど実力がつく大学です

定員

入学定員299名（2021年度255名→299名へ定員増）
収容定員1112名

キャッチコピーは「地域の未来は私がつくる。」



共愛学園前橋国際大学のPromotion Movie



共愛学園前橋国際大学の特長

先進的な教職一体ガバナンス

スタッフ会議

- ・理事長、学長、全教職員が参加
- ・大学の方向性を左右する最重要課題を審議

各種大学運営センター

- ・教員も職員も全員が一スタッフとして所属し、主体的に大学を運営
- ・属性に関わらず長を互選



迅速な意思決定

学長の強力なリーダーシップ

理事会の強力なバックアップ

学生中心主義 学生は大学づくりのパートナー

大学運営への学生参画

- ITサポート
- 英語アカデミックチューター
- TA(ティーチングアシスタント)
- 図書館ピアチューター
- 留学生チューター
- 障がい学生支援チューター
- 学生広報スタッフ/オープンキャンパス運営
- 学生カフェ運営
- インターンシップ奨学金/ワークスタディ奨学金
- 部室棟建設プロジェクト(2014): 学生に予算を預け、全て学生が担当。

学生の意見を反映させる取組

- スピークアップ相談システム
- 学生アンケート
- 授業アンケート
- 4号館建築プロジェクト(2011)
- 国際交流寮建築プロジェクト(2015)

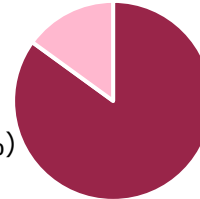
学生による取組

- 学内フリーペーパー
- エコ・キーパー
- ネット情報発信
- キャリア学習
- 新入生歓迎・留学生歓迎行事
- 各種多様な学内イベント

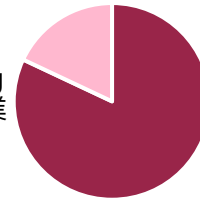
※一部は学生プロジェクト奨学金で支援

コンパクトユニバーシティ 教育の質転換

クラス規模
50名以下85%
(10名以下30%)



Active Learning
要素を含む授業
82%



専任教員の
Active Learning
活用率
100%



地学一体

地域貢献

地域共生・連携

地学一体

入学者県内割合

約90%

県内就職割合

70~80%

貢献から連携へ/連携から一体へと歩みを進め地域(行政・学校・企業・NPO)との協働学修多数

DX

2010~ ユビキタスキャンパス

Full Paper Less Campus
文科省PLUS DX 選定

- ・ AIによる個別最適学修構築
- ・ デジタルコンテンツの活用
- ・ LMSの完全活用
- ・ RPA等運営のDX



大学・短大進学者の就職先 イメージ図



※平成27年3月の県内高校卒業者をベースに県労働政策課推計(概数)

共愛学園前橋国際大学に関する書籍や事例集等



地域に愛される大学のすすめ

出版社：三省堂 (2011/7/26)



今選ぶなら、地方小規模私立大学！

～偏差値による進路選択からの脱却～

出版社：レゾンクリエイト
(2018/10/19)



新たな大学像を求めて

共愛学園前橋国際大学はなぜ注目されるのか

出版社：IN通信社 (2019/11/14)



「大学等における「教職協働」の先進的事例に係る調査」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1403495.htm



地域で学び、地域を支える。大学による地方創生の取組事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/chihoujirei.html



「教学マネジメントの確立に資する事例の把握等に関する調査研究」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1418380_00003.htm

その他、雑誌記事等多数